

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
1	比較表(VI-2-1-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-1 耐震設計の基本方針)	P5	「耐震重要施設については、地盤変状が…適切な対策を講ずる設計とする。」の記載について、基本設計方針の記載と整合を図り、「液化化、揺すり込み沈下等の周辺地盤の変状」に見直した。	2020/12/14	
2	比較表(VI-2-1-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-1 耐震設計の基本方針)	P33	屋外重要土木建造物の安全余裕について、各施設の機能要求等を踏まえて設定していることを追記しました。	2020/12/14	
3	比較表(VI-2-1-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-1 耐震設計の基本方針)	P39	「水平2方向及び鉛直方向地震力を考慮した評価」をする場合と「水平1方向及び鉛直方向地震力の組合せで評価した上で、その結果に基づき水平2方向の影響確認」をする場合があることが分かるように記載を見直した。	2020/12/14	
4	比較表(VI-2-1-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-1 耐震設計の基本方針)	P15	波及的影響の考慮について、「上位クラス施設」ではなく、「設計基準対象施設及び重大事故等対処施設」とし、下位クラスも対象となるような記載とした。	2020/12/14	
5	比較表(VI-2-1-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-1 耐震設計の基本方針)	P41	剛設備に対しても材料物性のばらつき等を考慮した地震力を作用させるため、時刻歴解析、スペクトルモーダル解析に限定した記載を見直した。	2020/12/14	
6	比較表(VI-2-1-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-1 耐震設計の基本方針)	P21	異常時配管荷重の考慮不要の記載について、JEAG4601に基づいた設計であるため、コンクリート製原子炉格納容器規格の要求である「異常時配管荷重」は考慮しない旨の記載に修正しました。	2020/12/14	
7	比較表(VI-2-1-6)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-6_地震応答解析の基本方針)	P7	周波数応答解析に関する記載について削除しました。	2021/1/25	
8	説明資料	既工認との手法の相違点(二次元FEMによる排気筒の入力地震動作成)	P1	排気筒に適用する二次元FEMモデルについて、ヒアリング資料「既工認との手法の相違点(二次元FEMによる排気筒の入力地震動作成)」に詳細をまとめました。	2020/11/4	
9	比較表(VI-2-1-9)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-9_機能維持の基本方針)	P21	先行プラント及び他項目の内容で読むことが出来ることから、記載を削除しました。	2020/11/4	
10	VI-2-1-11	機器・配管の耐震支持設計方針	P3	「機能維持の検討」に関する判断基準については添付書類「VI-2-1-9 機能維持の基本方針」に記載していることを注記に記載しました。また、「YESorNo」の記載を「OKorNG」の記載に適正化しました。	2021/1/14	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
11	比較表(VI-2-1-11)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-11 機器・配管の耐震支持設計方針)	P12	平面図を追加しました。	2021/1/14	
12	比較表(VI-2-1-11)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-11 機器・配管の耐震支持設計方針)	P13,14	図中の文字について鮮明化しました。	2021/1/14	
13	比較表(VI-2-1-11)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-11 機器・配管の耐震支持設計方針)	全体	他の基本設計方針の図書も含めて標準支持間隔法の記載に統一しました。(本図書における修正箇所無し。)	2021/1/14	
14	比較表(VI-2-1-11)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-11 機器・配管の耐震支持設計方針)	P26,27	フローの内容と整合するように本文を適正化しました。	2021/1/14	
15	VI-2-1-12-1	配管及び支持構造物の耐震計算について	P28	F_s の計算式について、ルートの位置を適正化し、次元が合う正しい計算式に修正しました。	2021/1/14	
16	VI-2-1-12-1	配管及び支持構造物の耐震計算について	P31	図中の「D」を「Do」に修正しました。	2021/1/14	
17	VI-2-1-12-1	配管及び支持構造物の耐震計算について	P113	「定格荷重」を「使用荷重」に適正化しました。	2021/1/14	
18	比較表(VI-2-1-12-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-1 配管及び支持構造物の耐震計算について)	P123	注7について、先行との差異理由を「表現の相違」に適正化しました。	2021/1/14	
19	比較表(VI-2-1-12-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-2 ダクト及び支持構造物の耐震計算について)	P20	先行同様アンカーサポートが使用されていることから、記載を適正化しました。	2021/1/14	
20	VI-2-1-13-4	横軸ポンプの耐震性についての計算書作成の基本方針	P2	資料全体を再確認し、記載内容の整合がとられていない箇所について適正化しました。	2021/1/14	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
21	比較表(VI-2-1-13-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-13-1 スカート支持たて置円筒形容器の耐震性についての計算書作成の基本方針)	全体	支持構造物の許容値として用いられている記号を f とし、その f を1.5倍した記号を「 f 」とし、区別できる記載に変更しました。他の図書で同様の記載があるものについても修正しました。	2021/1/14	
22	比較表(VI-2-1-13-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-13-1 スカート支持たて置円筒形容器の耐震性についての計算書作成の基本方針)	全体	計算式を適正化しました。	2021/1/14	
23	比較表(VI-2-1-13-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-13-2 横置一胴円筒形容器の耐震性についての計算書作成の基本方針)	P30	地震の方向の記載について適正化しました。	2021/1/14	
24	比較表(VI-2-1-13-6)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-13-6 管の耐震性についての計算書作成の基本方針)	P24	「許容応力を超える計算応力に対して付記する」との記載について意味合いを明確化し、次のとおり表現を適正化しました。「*印は一次+二次応力が許容応力を超えていることを示し、簡易弾塑性解析を行い疲労評価の結果疲労累積係数が1以下であり許容値を満足している。」また、先行との差異理由を「表現の相違」に適正化しました。	2021/1/14	
25	比較表(VI-2-1-13-7)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-13-7 盤の耐震性についての計算書作成の基本方針)	P8	「壁掛け型の」との記載を「盤の」との記載に適正化しました。	2021/1/14	
26	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成について	P2	*5に、通称グランドルールと呼んでいる補足説明資料の正式名称を記載しました。	2021/1/14	
27	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成について	P6	「5.2.5 ⑤地震応答解析及び構造強度評価について」に、動的解析を実施する場合の具体的な手法(スペクトルモーダル解析, 時刻歴応答解析)について追記しました。	2021/1/14	
28	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成について	P6	モデル, モデル図の表現を適正化しました。	2021/1/14	
29	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成について	P7,8	「情報」との記載について表現を適正化しました。	2021/1/14	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
30	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	全体 (P3など)	各項で記載表現が異なる箇所について適正化しました。	2021/1/14	
31	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	添付1 (横軸ポン プ)P6	相当材を使用している設備があることから記載を適正化しました。	2021/1/14	
32	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	添付1 (横軸ポン プ)P7	型式の記載が記載例であることが分かるように適正化しました。	2021/1/14	
33	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	全体	主体構造の記載について、各機器のイメージができる記載へ適正化しました。	2021/1/14	
34	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	P2	Fパターン「補機」との表現について適正化しました。	2021/1/14	
35	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	P5	5.2.4「固有値を求める」の記載について適正化しました。	2021/1/14	
36	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	添付4 (盤) P3	「3. 固有周期」の記載について適正化し、資料中で記載を統一化しました。	2021/1/14	
37	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	添付7-1 添付8	文字きれや図きれについて適正化しました。	2021/1/14	
38	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	P5	内容が分かりやすいよう箇条書きで記載を適正化しました。	2021/1/14	
39	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	P4 添付10 (管)P1	5.2.1の記載を適正化するとともに、「添付資料-10 Fパターン「管」の耐震計算書記載例」の「1.概要」に系統名を記載することとしました。	2021/1/14	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
40	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成について	添付3 (たて軸ポンプ)P9	n+1次の固有周期は0.05s以下であることを示しているため、「VI-2-1-13-6 管の耐震性についての計算書作成の基本方針」の記載を「0.05s未満」から「0.05s以下」に適正化しました。	2021/1/14	
41	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	P6	胴板と下部鏡板について原子炉圧力容器と明記しました。	2021/1/25	
42	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	全体	各補足説明資料の名称について内容が分かるように見直しを実施しました。	2021/1/25	
43	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	全体	補足説明資料の全体構成について整理しヒアリング資料としてまとめました。	2021/1/25	
44	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	P20	炉内計装設備について対象となる設備名称を全て記載しました。	2021/1/25	
45	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	P26	配管系の減衰についてBWRプラントへの適用実績を中心に記載内容を見直しました。	2021/1/25	
46	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	P28	コンクリート物性値の適用規準について, 本資料中の記載は現状のまま最新基準を記載することとしますが, 地震応答解析における既設部材の物性値の設定の考え方については, 別途建屋の地震応答計算書の補足説明資料で説明いたします。	2021/1/25	
47	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	P28	逐次非線形解析を採用している建屋があるため, 「一次元地盤応答解析」を追記しました。	2021/1/25	
48	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	P32	屋外重要土木構造物の既工認との相違点に, 今回工認で実施するCCb補強, 部材の増厚補強及び鋼材の補強を記載いたしました。	2021/1/25	
49	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付-1(17/19)	添付-1の貯留堰の備考欄に当該設備が耐震CクラスだがSs機能維持の設備である旨を追記しました。	2021/1/25	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
50	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付2-2 P3	設計用地震条件を呼び込むため, 添付書類「VI-2-1-7」を追記しました。	2021/1/25	
51	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付2-2 P6,7	たて軸ポンプモータ軸受に対する鉛直地震動の影響について, 設備の構造と地震応答を踏まえて記載を適正化し, 海水ポンプとECCSポンプで記載の整合を図りました。	2021/1/25	
52	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付2-2 P7	すべり軸受について, 地震荷重による浮上りが発生しない旨を明記しました。	2021/1/25	
53	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付2-2 P11	表1について「○」、「×」、「-」について凡例を充実しました。	2021/1/25	
54	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	P13	フローにLOCA+Sdについての考え方を追記しました。	2021/1/25	
55	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付4-2(2 /4)	添付4-2において, 女川2号の原子炉建屋エアロックの最新プラントの実績として原子炉建屋エアロックを追記しました。	2021/1/25	
56	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付-6(建物・構築物, 屋外重要土木構造物)(4/12)	「屋外排水路逆流防止設備(防潮堤南側(No.1), (No.2), (No.3)), (防潮堤北側)」の解析モデルについて, 記載内容を見直しました。	2021/1/25	
57	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付6-1 参考資料-4(2/2)	付加減衰定数設定の根拠となるNUPECの試験について追記しました。	2021/1/25	
58	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付6-4 P1	静的地震力と動的地震力の組合せを行う場合に絶対値和とする方針を明記しました。	2021/1/25	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
59	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付6-3 P21	図16について鮮明な図に貼り換えました。	2021/1/25	
60	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付-1(12 /19)	添付-1にドライウェルスプレイ管を記載した上で耐震評価は省略する理由を追記しました。	2021/1/25	
61	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付-3(21 /25)	添付-3について一部「○」が誤記であり「-」の記載が正しかったことから記載を修正しました。	2021/1/25	
62	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付4-1(1 /5)	添付4-1の表中に記載のアスタリスクは不要であることから削除しました。	2021/1/25	
63	補足-600-2	耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について	添付6-4 P1	静的地震力と動的地震力について定義を明確にし記載を統一しました。	2021/1/25	
64	比較表(VI-2- 1-5)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-5_波及的影響に係る基本方針)	P22	建物構築物の許容限界に建築基準法に基づく許容限界は適用していないので記載を削除しました。	2021/1/25	
65	補足-600-4	女川2号機 耐震設計(機器配管系)に係る補足説明資料の構成について	-	補足説明資料の全体構成について「女川2号機 耐震設計(機器配管系)に係る補足説明資料の構成について」に整理しました。	2021/1/25	
66	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	参考資料2	参考資料2にEPからの変更点及び先行プラントとの相違点を整理しました。	2021/1/25	
67	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	P2,7	波及的影響に係る事項であることが分かるよう、「波及的影響」と追記しました。	2021/1/25	
68	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	P26,34	原子炉格納容器貫通部との記載に修正しました。	2021/1/25	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
69	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	P26,27	Sクラスとの記載を上位クラスに修正しました。	2021/1/25	
70	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	P31	計装設備との記載を計測制御設備に修正しました。	2021/1/25	
71	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	P46	制御建屋に対する原子炉建屋の影響については、原子炉建屋に対する制御建屋の影響確認と相違ない旨の注記を追加しました。	2021/1/25	
72	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	P11	防護対象設備へ附番している整理番号について、附番の考え方を追記しました。	2021/1/25	
73	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	P130	資料作成対象から除外する南側排水路について、考え方を追記しました。なお、添付資料を作成するものは、より詳細な説明が必要なものと整理しました。	2021/1/25	
74	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	P122	海水ポンプ室についてSクラスから屋外重要土木構造物に記載を見直しました。	2021/1/25	
75	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	P130	アクセスルートと防潮堤の関係を踏まえた評価内容となるよう記載を修正しました。	2021/1/25	
76	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	参1-1	既往研究で検討している主要損傷モードについて追記しました。	2021/1/25	
77	補足-600-4	下位クラス施設の波及的影響の検討について	参1-3	机上検討の結果を踏まえて現場調査を実施したことが分かるように記載を見直しました。	2021/1/25	
78	補足-600-3	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P8,10	基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d と一様ハザードスペクトルとの比較図に対し、出典(女川2号炉設置変更許可申請)を追記しました。	2021/2/5	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
79	補足-600-3	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P18	PL,MLについて*が2つになっている箇所の意味について再確認し,記載を見直し(*を削除)しました。	2021/2/5	
80	補足-600-3	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P18	「IVAS* ² 」の意味について再確認し,記載を見直し(*2を削除)しました。	2021/2/5	
81	補足-600-3	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P7,9	一様ハザードスペクトルと基準地震動S _s との比較について,比較内容を設置変更許可申請と整合を図り,記載を見直しました。	2021/2/5	
82	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数の妥当性確認について	別紙10P.1	3.11地震及び4.7地震による疲労評価対象設備の選定の考え方について別紙10にまとめました。	2021/2/5	
83	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数の妥当性確認について	P.14	等価繰返し回数算出における固有周期の算出刻みを追記しました。	2021/2/5	
84	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数の妥当性確認について	P.16	基準地震動S _s の加速度時刻歴波形図について,継続時間の比較がしやすいよう,図の横軸の表示範囲を統一しました。	2021/2/5	
85	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数の妥当性確認について	P.24	別紙の構成をわかりやすいように見直しました。	2021/2/5	
86	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数の妥当性確認について	全体	等価繰返し回数の算出結果の表フォーマットについて,先行のフォーマットを参考に全体的に見直しました。	2021/2/5	
87	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数の妥当性確認について	全体	回数算出に用いた地震動が分かるよう,補足説明資料の各表を全体的に見直しました。	2021/2/5	
88	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数の妥当性確認について	全体	炉内構造物地震応答解析モデルの回数算出質点が疲労評価対象部位のみであることを追記しました。	2021/2/5	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
89	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数 の妥当性確認について	P.15, P.17	表3-5, 表3-6及び表3-7について, 表題を具体的な内容に見直しました。	2021/2/5	
90	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数 の妥当性確認について	P.21	女川の等価繰返し回数が比較的多くなっている理由を考察に追加しました。	2021/2/5	
91	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数 の妥当性確認について	別紙10P.1	3.11地震及び4.7地震に対するベント管ベローズの評価結果を追記しました。	2021/2/5	
92	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数 の妥当性確認について	別紙14	Sd省略の考え方について, わかりやすい説明となるよう, 記載を見直しました。	2021/2/5	
93	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数 の妥当性確認について	別紙10P.2	評価結果が判断目安0.99を超過した場合, 該当する評価設備に対する評価手法の見直し, より裕度を持つよ うな改造設計等を実施することを追記しました。	2021/2/5	
94	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数 の妥当性確認について	全体	等価繰返し回数の算出結果の表フォーマットについて, 先行のフォーマットを参考に全体的に見直しました。	2021/2/5	
95	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数 の妥当性確認について	別紙10P.7	建設時の手法を確認し, UDの記載を削除しました。	2021/2/5	
96	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数 の妥当性確認について	別紙11(別 添2)	JEAGの抜粋資料について, 鮮明化しました。	2021/2/5	
97	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数 の妥当性確認について	別紙14P.2	弾性設計用地震動Sdによる疲労評価の省略に係る資料の分母と分子の説明を適正化しました。	2021/2/5	
98	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数 の妥当性確認について	P.8	基準地震動Ss及び弾性設計用地震動Sdの図名を適正化しました。	2021/2/5	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
99	補足-600-9	耐震評価における等価繰返し回数 の妥当性確認について	P.9	変位応答波形と加速度応答波形の 関係性に関する説明を適正化しました。	2021/2/5	
100	補足-600-19	重大事故等対処施設の耐震設計 における重大事故と地震の組合せ について	-	基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d と組み合わせる重大事故時の水位につ いては、「VI-1-8-1_原子炉格納施設の 設計条件に関する説明書」に記載する こととします。	2021/2/5	
101	補足-600-19	重大事故等対処施設の耐震設計 における重大事故と地震の組合せ について	P46	「当社の定義」の記載について検討し 、「以下の通り定義する」と記載を見直 すこととしました。	2021/2/5	
102	補足-600-19	重大事故等対処施設の耐震設計 における重大事故と地震の組合せ について	P61	地震ハザードカーブのグラフに「1G」 について、記載を見直し(1000Gal)ま した。	2021/2/5	
103	補足-600-19	重大事故等対処施設の耐震設計 における重大事故と地震の組合せ について	P28	表5.2.2-4の対象は、D/WとS/Cで値 が大きなものを記載しており、表中 の格納容器過圧・過温破損(代替循環 冷却系を使用する場合)の格納容器 圧力(約0.426MPa[gage])及び格納 容器温度(約50℃)はいずれもS/C の値となります。	2021/2/5	
104	補足-600-19	重大事故等対処施設の耐震設計 における重大事故と地震の組合せ について	P28	運転状態V(LL)におけるPCV温度 111℃については、格納容器過圧・過 温破損(代替循環冷却系を使用でき ない場合)における評価結果を参照し た数値となります。資料中で格納容 器過圧・過温破損(代替循環冷却系 を使用できない場合)の評価結果がわ かるよう表5.2.2-4に追記しました。	2021/2/5	
105	比較表(VI-2-1-10 ダクティリティに関する設計方針)	先行審査プラントの記載との比較 表(VI-2-1-10ダクティリティに関 する設計方針)	P7	東北地方太平洋沖地震等の地震や コンクリートの乾燥収縮によるひび 割れ等が鉄筋コンクリート造耐震壁 の変形能力及び終局耐力に影響を与 えないことについて、実験等により 確認していることを追記しました。	2021/2/15	
106	説明資料	基準地震動 S_s -F3の検討段階 における地震動による施設への影 響について	P10	表3-2に減衰5%に加えて減衰2% とした場合のスペクトル比を追記し ました。	2021/2/15	
107	説明資料	基準地震動 S_s -F3の検討段階 における地震動による施設への影 響について	P5	3.1に影響検討の方針を記載しま した。	2021/2/15	
108	説明資料	基準地震動 S_s -F3の検討段階 における地震動による施設への影 響について	P3	基本ケース、不確かさケース1、 不確かさケース3の違いが分かるよ うに色を修正しました。	2021/2/15	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
109	説明資料	基準地震動 S_s-F3 の検討段階における地震動による施設への影響について	P2, 3	検討に用いた6波(A~F)について、定義を記載しました。	2021/2/15	
110	説明資料	基準地震動 S_s-F3 の検討段階における地震動による施設への影響について	P11,12	設計用最大応答加速度, 設計用床応答曲線及び設計用地震力の引用元の工認図書名称を追記しました。	2021/2/15	
111	説明資料	基準地震動 S_s-F3 の検討段階における地震動による施設への影響について	P12, 13	表と図で「最大応答加速度」に統一しました。	2021/2/15	
112	比較表(VI-2-1-12-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-1 配管及び支持構造物の耐震計算について)	P125	原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601-1987)表6.6.4-2 埋込金物の評価方法(その1)を参照していることを追記しました。	2021/2/25	
113	比較表(VI-2-1-12-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-1 配管及び支持構造物の耐震計算について)	P27	4. 支持構造物の設計 4.1 概要で施設区分及び耐震重要度分類に応じた地震荷重であることがわかるように定義を追記しました。	2021/2/25	
114	比較表(VI-2-1-12-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-1 配管及び支持構造物の耐震計算について)	P26	3.3.2(3)集中質量部, (4)分岐部の記載について、「直管部と比較して1次固有振動数が低下する。」と表現を見直しました。	2021/2/25	
115	比較表(VI-2-1-12-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-1 配管及び支持構造物の耐震計算について)	P123	「MKS 単位系」を「工学単位」に記載を見直しました。	2021/2/25	
116	比較表(VI-2-1-12-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-2 ダクト及び支持構造物の耐震計算について)	P3	申請範囲外に建屋相互間を通過するダクトがあるため、記載を適正化しました。	2021/2/25	
117	比較表(VI-2-1-12-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-2 ダクト及び支持構造物の耐震計算について)	P5	表4-1について、耐震重要度分類に係る記載を適正し、Sクラス以外の分類を追加しました。	2021/2/25	
118	比較表(VI-2-1-12-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-2 ダクト及び支持構造物の耐震計算について)	P10, 16	断面二次モーメントの安全係数で β を用いることとし、弾性座屈曲げモーメントの補正係数は「C」へ変更し、混同しないように適正化しました。	2021/2/25	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
119	比較表(VI-2-1-12-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-2 ダクト及び支持構造物の耐震計算について)	P10, 12, 13, 15	(4.4), (4.5)式他, 数式の文字サイズを統一しました。	2021/2/25	
120	比較表(VI-2-1-12-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-2 ダクト及び支持構造物の耐震計算について)	P11	ae, beの記載を適正化し, 一行で表示されるようにしました。	2021/2/25	
121	比較表(VI-2-1-12-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-2 ダクト及び支持構造物の耐震計算について)	P19	フレクターの構造が分かる図に適正化しました。	2021/2/25	
122	比較表(VI-2-1-12-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-12-2 ダクト及び支持構造物の耐震計算について)	P21	ダクト, ダクト支持構造物の説明を図に追加しました。	2021/2/25	
123	比較表(VI-2-1-13-5)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-13-5 たて軸ポンプの耐震性についての計算書作成の基本方針)	P11	同期回転数の記載を修正し, 同期回転速度の記載に統一しました,	2021/2/25	
124	比較表(VI-2-1-13-6)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-13-6 管の耐震性についての計算書作成の基本方針)	P25	「補足-600-10 機電設備の耐震計算書の作成について 添付資料-10」に一次+二次が $2S_y$ 以下の場合は「-」とすることの説明書きを追記しました。	2021/2/25	
125	比較表(VI-2-1-13-6)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-13-6 管の耐震性についての計算書作成の基本方針)	P17	「補足-600-10 機電設備の耐震計算書の作成について 添付資料-10」に2つ以上の建屋を渡る配管については建屋境界を記載することの説明書きを追記しました。	2021/2/25	
126	比較表(VI-2-1-13-6)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-13-6 管の耐震性についての計算書作成の基本方針)	P21	斜め拘束及び方向余弦に関する注記を追記しました。	2021/2/25	
127	比較表(VI-2-1-13-6)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-13-6 管の耐震性についての計算書作成の基本方針)	P11	* 4を記載する位置を修正しました。	2021/2/25	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
128	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	P9, 10	付加質量, 排除水質量に関する説明を, 5.2.4, 5.2.5に追記しました。	2021/2/25	
129	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	P9	具体的な試験名称を追記しました。	2021/2/25	
130	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	P6	5.2.1に、「概要」に記載する評価目的の例として、「基準地震動Ssによる地震力に対して機能を維持できることを確認する」等を追記しました。	2021/2/25	
131	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	P124	主体構造欄に記載のあるフレームと配管ユニット, 計装ユニットの取り合いが分かる図を追加しました。	2021/2/25	
132	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	P124, 127, 128, 141~144, 149, 153~ 154, 158, 183	先行の記載を踏まえ, 解析モデルに対する諸元を追加しました。	2021/2/25	
133	補足-600-10	機電設備の耐震計算書の作成 について	P10	三次元FEMの「三」について, 算用数字に記載を修正しました。	2021/2/25	
134	補足-600-3	地震時荷重と事故時荷重との組 合せについて	P16	3.1.3 クラスMCの荷重の組合せの表におけるスターマークとアスタリスクの識別ができるよう記載の適正化を行いました。	今回回答	
135	補足-600-3	地震時荷重と事故時荷重との組 合せについて	P17	原子炉圧力容器の圧力変化に対するSI単位の縦軸と図番を追加しました。また, 出典について, 既工認を引用していることについて明記しました。	今回回答	
136	補足-600-3	地震時荷重と事故時荷重との組 合せについて	P6	今回の荷重の組合せでJEAG4601・補-1984の基準地震動S1及びS2を弾性設計用地震動Sd及び基準地震動Ssに置き換えて評価していることの方について記載の適正化を行いました。	今回回答	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
137	補足-600-3	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P7~P12	ハザードに対する説明と図について記載の適正化を行いました。	今回回答	
138	補足-600-3	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P14	Sd*の定義について、機能維持の方針と同じ内容に記載の適正化を行いました。	今回回答	
139	補足-600-3	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P23	Dを全角にし「,」を追加し区切りをつけました。また、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの向きについて適正化を行いました。	今回回答	
140	補足-600-19	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについての補足説明資料	P28	記載の適正化として代替循環冷却系を使用できない場合の参考を削除しました。	今回回答	
141	補足-600-19	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについての補足説明資料	P62	「SA 施設による対策の有効性の評価がDB 条件を超えるもの」に対する説明内容を追加しました。	今回回答	
142	補足-600-19	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについての補足説明資料	P40	PCVの最大荷重を適用することについて、説明を追加しました。	今回回答	
143	補足-600-19	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについての補足説明資料	P62	地震PRAの説明内容について、諸元等の出典を追加しました。	今回回答	
144	補足-600-19	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについての補足説明資料	P8	基準地震動Ssの略称について、記載の適正化を行いました。	今回回答	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震基本方針)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
145	補足-600-19	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについての補足説明資料	P67	図中に記載した「1G」について「100gal」に適正化を行いました。	今回回答	